

「FAVA 日本事務所の福岡市への設置」に関する要請式が行われました!!

令和4年7月26日（火）、博多サンヒルズホテルにおいて、服部誠太郎福岡県知事、桐明和久福岡県議会議長などから、藏内勇夫日本獣医師会会長に対して、「FAVA 日本事務所の福岡市への設置」が要請されました。

【要請先】	公益社団法人 日本獣医師会会長	藏内 勇夫
【要請者】	福岡県知事	服部 誠太郎
	福岡県議会議長	桐明 和久
	一般社団法人九州経済連合会会長	倉富 純男
	福岡商工会議所会頭	谷川 浩道



服部誠太郎福岡県知事



藏内勇夫日本獣医師会会長

【服部福岡県知事】

平成28年に福岡県北九州市でワンヘルスに関する世界獣医師会、世界医師会の国際会議が開催されました。ここにおいて、ワンヘルスの実践の礎となる『福岡宣言』が世界に向けて発信されたところです。福岡県は、まさにこの『福岡宣言』の地であります。『福岡宣言』の地として全国で唯一、議員提案による「ワンヘルス推進基本条例」を持つ福岡県としては、この取組として、世界トップクラスの研究者が集う福岡県ワンヘルスフォーラムも開催しています。このような取組を続けて、福岡県とのワンヘルスに関する取り組みというもの国内外に発信を続けていきたいと考えているところです。

この福岡県に、FAVA 日本事務所が設置されて、連携をとることで、アジア、そして世界における感染症対策をはじめとするワンヘルスの推進に大きな貢献を果たしていくことが出来るものと考えています。

そして、世界有数の交通利便性を有し、MICE 機能を誇り、そしてアジアと深くつながる国際交流都市である福岡市に、ぜひ、FAVA 日本事務所を設置いただきたいと考えているところです。さらに、FAVA 日本事務所の設置は、FAVA 関係者の来県による交流人口の拡大であるとか、福岡県、福岡市の国際的な知名度とプレゼンスの更なる向上にも大きな役目を果たすものと考えています。

つきましては、**FAVA 日本事務所が福岡市に設置されますよう強く要望します。**

【藏内日本獣医師会会長】

現在、アジア獣医師連合会（FAVA）の事務局は、タイのバンコクに設置をされています。

これは、“Federation of Asian Veterinary Associations” ですから、アジア・オセアニア地区が対象となる連合体で、現在、アメリカを含めて23か国が参加をしています。40万人の獣医師が会員となっています。

第21回FAVA大会を、今年の11月に福岡市で、『アジアからのワンヘルスのアプローチ』というタイトルで開催することにしています。私は現在、このFAVAの“President-elect”、次期会長兼副会長に選任されているところです。このFAVA大会の前に行うFAVA総会で、このFAVAのワンヘルス福岡オフィスを実現したいと考えているところです。

今日の要請は、先般、日本獣医師会から服部知事に、「是非、FAVAのオフィスを福岡に誘致することを検討いただきたい」と、要請を行いました。私は、それに対する答えをいただいたと思っています。福岡市への設置をお引き受けいただけると、大変ありがたいお答えだと感謝をいたしているところです。

このFAVA事務所の誘致が決定すれば、人と動物、そして環境の保全を一体と捉え、それを実践するというワンヘルスの概念が、広くアジアだけではなく世界に広げ、福岡から発信することができるのではないか、正しく、世界的な課題であるこのワンヘルスについて、福岡がその発祥の地に、聖地になることができるのではないかと考えています。

実現に向けまして最善の努力を重ねて参りますので、どうか今日お集まりいただきました皆様方には格段のご支援を賜ることができますように心からお願い申し上げます。



2022年7月27日

福岡ワンヘルス協議会・事務局